

# 所沢市くらしサポーター 交流会ニュース 2015.7.30

県西NW  
西部地区

40名参加  
で交流

7月30日(木)、埼玉西協同病院にて、第1回所沢市くらしサポーター交流会を開催しました。

当日は40名が参加し、参加者も30名のサポーターさん、2名のコーディネーターさん、西垣理事、中野地区理事、各事業所事務長、各地区組織担当、地域組織責任者、本部事業部職員が参加しました。

交流会は学習講座、くらしサポ活動報告、グループ交流の内容で行いました。



学習講座として、埼玉西協同病院などの清掃を担当しているスターツファシリティサービス株式会社の杉本さんに講師をお願いし、依頼の多い「片付け」のコツをうかがいました。

杉本さんは、汚れごとの適した洗剤の違い、トイレ、浴室、キッチン、窓ガラスなど、場所ごとの掃除の仕方のコツ、ナチュラル洗剤の効果など、日常生活にも役立つコツをわかりやすくお話してくださいました。

6グループに分かれて交流を行ないました。

「まだサポートを経験した人が少ないので、できることをもっと積極的に登録しよう」という意見や、「くらしサポーターの活動を支部ニュースの記事にして知らせている」という取り組みの報告、「コーディネーターが足りないのではないか」という疑問、「くらしサポーターのマップをつくってはどうか」、「皆さんの得意なことを教え合う交流会を行なってはどうか」という提案などが発言されました。

最後に、くらしサポーター担当理事の西垣さんが集まってくださったくらしサポーターの皆さんにお礼を述べ、感謝状を手渡しました。



くらしコーディネーターがこれまでの所沢市でのくらしサポーターの活動について報告しました。

退院されたばかりの方の見守りを依頼され、家族の方が出かける間の2～3時間の話し相手を行なったところ、生活が落ち着き、介護保険を利用しながら自立した生活が送れるようになったという事例を報告しました。

お掃除、窓ふき、草取りといった家事や日常生活援助の依頼が多い、見守りや子育て支援の依頼は少なく、介護保険の隙間を埋めるような依頼が増えていることを報告しました。

また、「安くて便利だから使おう」という依頼者に注意が必要で、サポートすることで自立して生活できるような方向を目指していくのがくらしサポーターの役割だと述べました。

問題点として、地域が広く、ほとんどの方が歩きか自転車での移動なので、どうしても車を運転できる人など、依頼する人に偏りが出てしまうということがある。

また、日常生活の援助のはずが、依頼者にプロ並みの仕事を要求されたり、自宅以外の場所の草取りを依頼されたりするなど、利用者にくらしサポーターの趣旨が理解されていないことがあると報告がありました。

サポート依頼が来た時には皆さん引き続き協力をお願いします。